

みずほCustomer Desk Report 2018/07/12 号 (As of 2018/07/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.93
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	110.85	1.1728	130.03	1.3260	0.7417
SYD-NY High	112.17	1.1758	130.94	1.3285	0.7455
SYD-NY Low	110.77	1.1666	129.93	1.3200	0.7364
NY 5:00 PM	112.01	1.1672	130.76	1.3204	0.7367
NY DOW	24,700.45	▲ 219.21	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,716.61	▲ 42.59	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,774.02	▲ 19.82	米国2年債	2.5715	▲ 1.22bp
日経平均	21,932.21	▲ 264.68	米国5年債	2.7375	▲ 2.54bp
TOPIX	1,701.88	▲ 14.25	米国10年債	2.8391	▲ 2.75bp
シカゴ日経先物	22,030.00	▲ 230.00	独10年債	0.3085	▲ 0.95bp
ロンドンFT	7,591.96	▲ 100.08	英10年債	1.2935	▲ 0.70bp
DAX	12,417.13	▲ 192.72	豪10年債	2.6140	▲ 2.15bp
ハンセン指数	28,311.69	▲ 370.56	USDJPY 1M Vol	7.20	0.55%
上海総合	2,777.77	▲ 49.85	USDJPY 3M Vol	7.31	0.21%
NY金	1,244.40	▲ 11.00	USDJPY 6M Vol	7.65	0.10%
WTI	70.38	▲ 3.73	USDJPY 1M 25RR	-0.48	Yen Call Over
CRB指数	192.83	▲ 5.46	EURJPY 3M Vol	8.19	0.19%
ドルインデックス	94.72	0.57	EURJPY 6M Vol	8.53	0.08%

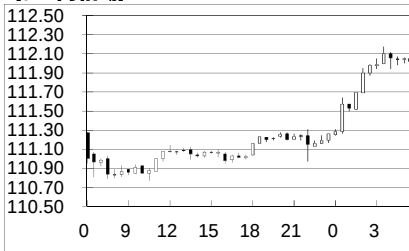
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
7月11日	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	6月 0.3%/3.4%	0.2%/3.1%
	23:00	カナダ銀行翌日物貸出金利	- 1.50%	1.50%

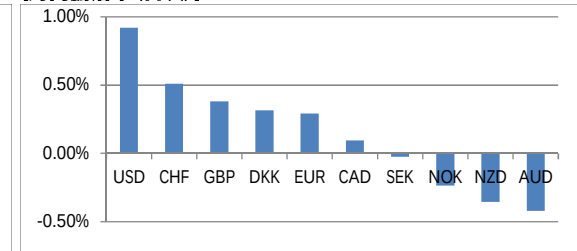
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
7月12日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.9%	0.2%/2.8%
	21:30	米 CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.3%	0.2%/2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 225k	231k
	21:30	米 カシカ・ミネアポリス連銀総裁講演	- -	-
7月13日	01:15	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	- -	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.00-112.50	1.1600-1.1800	130.00-131.50

[マーケットインプレッション]

昨日の海外市場は、米中の貿易戦争懸念が深刻化する中、株やエマージング市場が下落したことを受け、ドルに買いが入り、ドル円は上昇。節目となる112円台を抜け、結局高値圏でクローズしている。本日についても、引き続きドルの堅調な推移を想定。但し、株が一段と下落する局面などについては、リスクオフから円買いが強くなる可能性もある。

東京	前日NY時間終盤に、米国が対中追加関税リストの発表を準備中との報道があり(のち、正式発表)、貿易摩擦激化懸念から円高地合いとなるなか、東京時間のドル円は110.85レベルでオープン。株安が大きく進んだことを背景に安値110.77まで下落。しかし、その後は中国当局から報復措置を示唆しつつ米国を牽制するコメントが出されるなかでも、円は売り戻される展開となり111円台まで上昇。111.07レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、111.07レベルでオープン。欧州時間も円の売り戻しは継続し、一時111.27まで上昇。その後は小幅なレンジで推移し、111.24レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1736レベルでオープン。ドル高の影響を受けて一時1.1695まで低下。その後レンジで推移し1.1707レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	昨日の米国が中国に対する関税リストを準備中との報道を受け、リスク回避の動きに円買いが強まり、ドル円は安値110.77まで下落したが、貿易摩擦による市場の反応は限定的。その後はドル買いが優勢となり、111.27まで戻し、111.24レベルでNYオープン。朝方は米6月PPIが予想を上回ったことから、ドル円は111.31まで上昇するが、このレベルではドル売り意欲も強く、中国が米企業へのライセンス発行や、M&Aの承認を遅らせたり等、他の方法で米国に対して報復することを考えているとの報道を受け、一旦ドル売りが優勢となり110.97まで反落する。その後は111.20付近での推移が暫く続くが、特段ニュースが見当たらない中、徐々に買いが強まり、111.40を抜けるとストップを巻き込み111.64まで上昇する。午後に入っても短期筋のドル買いにドル円は続伸し、1/10以来に112円台へ乗せ高値112.17をタッチする。終盤に掛けては112円丁度付近での推移が続き、112.01レベルでクローズした。一方、ユーロドルは、海外市場でドル買いが優勢となったことから1.1695まで下落し1.1707レベルでNYオープン。朝方はECBメンバー内で最初の利上げの時期で意見が分かれているとの話を受けユーロ買いが強まり高値1.1758まで上昇する。しかし、ドル円がストップを巻き込み急伸する展開を受け、ユーロドルは上値を切り下げ、安値1.1666まで下落する。終盤に掛けては狭いレンジでの値動きが続き、1.1672レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 藤巻・森谷